

特集

分類学と 応用科学の接点



——多様な生物のもつ有用な特性に“気づき”,それを“利用する”

〔企画〕大塚 攻

本特集は、2014年末と2015年初の二つのシンポジウムをベースに再構成したものである。分類学は、生物多様性を発見し、記述し、体系的に理解することを目的としており、すべての多様性生物学的研究の基礎を提供する学問分野である。それは、私たちの生活に直結する応用科学（医学・薬学、農学・林学・水産学、材料科学）にも基礎情報を提供してきた。本特集では、生物資源利用、バイオミメティクス（生物模倣技術）、薬剤抵抗性など、分類学と応用科学が連携して生み出された成果を取り上げ、さらなる相互交流をよびかけた試みを紹介する。

〔特集にあたって〕

大塚 攻／江口 克之／篠原 現人

昆虫の形態研究とバイオミメティクス

——データベースを構築し生物多様性を効率的に活用へ

野村 周平

アリのペプチド系毒素の多様性と分類学

稲垣 英利／長谷川 英祐／緒方 一夫／増子 恵一

モウセンゴケ属の種分化と 日本産種にみられる抗アレルギー効果

星 良和

海綿由来の天然物と分類の関係

——有用天然物探索における生物の統合的な分類および同定

高田 健太郎／伊勢 優史

フグは食いたし、命は惜しし

——フグ類の分類と毒性

松浦 啓一

水産学に必要な不可欠な形態学、分類学

——特にバイオミメティクスとの関連から

大塚 攻／梶 智就／西川 淳／西田 周平／浅川 学／田角 聡志

多様な酵母の能力と応用利用

——油脂や酵素の生産基盤としての酵母にも注目

正木 和夫／歌島 悠／家藤 治幸

日本列島のデング熱、流行と媒介蚊

——名称探しへの困惑が分類学研究強化のきっかけに

栗原 毅

抗酸菌属に潜む分類学と臨床現場の乖離

——医学・薬学などとの発展的融合を模索

和田 崇之／吉田 志緒美／山本 太郎

珪藻類の休眠期細胞を利用した応用科学

石井 健一郎／神川 龍馬／澤山 茂樹／宮下 英明／石川 輝／今井 一郎